

JSC 北陸支部セミナーのご案内

『講師決定！ 大場 弘 DC』

マニュアルメディスン研究会の大場 弘 DC が北陸支部セミナーにお越し頂けることになりました。大場先生には、この度5回シリーズで基礎から身体波動、機能神経学まで先生のノウハウを全て披露して頂きます。

また富山湾の海の幸を氷見の民宿で堪能していただき、夜は JSC 恒例の地獄部屋での番外セミナー、心行くまでカイロを学んで頂けます。

今回のセミナーは又とないチャンスです。是非、一人でも多くの皆様に受講頂きますようにご案内申し上げます。

記

【講演の概要】

- 脳はなぜ生まれたのか？
- 感覚と運動の統合
- 視覚と前庭器官を有する頭部の役割
 - 視覚と前庭系、頭頸部の統合
 - 運動時の姿勢維持
- 脳機能の変調
 - 運動機能の障害
 - 脳機能の窓：脳神経系
 - ヘミスフェリシティと大脳半球インバランス
- 徒手療法のメソドロジー
- 身体呼吸療法



【各回の予定】

1回目；

日 時；令和6年9月15日（日） 午後1時～午後4時
16日（月・祝） 午前9時30分～午後4時30分

会 場；大門総合会館 402・403 会議室

〒939-0232 富山県射水市大門 67 ☎0766-52-0564

内 容；

- ① 機能神経学：脳はなぜ必要 感覚と運動は表裏一体 神経生理と活用
- ② 徒手療法：アジャストメントのメソッド
- ③ 身体呼吸療法：これまでの経緯 呪縛からの解放

その他；1日目終了後、氷見の民宿「磯波風（イソップ）」で宿泊・懇親します。
〒935-0002 富山県氷見市泊 1760 ☎0766-74-2336
氷見の民宿に宿泊されない方は、高岡駅周辺のホテルをご利用ください。
尚、高岡駅までは、越中大門駅より金沢方面へ1駅、5分間です。

費用；

受講料（2日分）；

北陸会員 20,000円、JSC本部会員 22,000円、一般の方 25,000円

宿泊・懇親会費；会より一部補助あり

北陸会員 15,000円、その他の方 17,000円

尚、一般の方でも、同時に北陸支部に入会される場合は、北陸会員の料金になります。その際は支部会費の10,000円を納入してください。

アクセス；

お車の方は、北陸自動車道・小杉IC下車、会場まで車で10分間です

北陸新幹線 新高岡駅で下車の方は、送迎します。会場まで10分間です。

大阪方面の方は、新高岡駅下車、または金沢駅下車、IRいしかわ鉄道の富山方面に乗換え（約45分）、越中大門駅下車、会場まで徒歩7分間です。

東京方面の方は、富山駅下車、あいの風富山鉄道の金沢方面に乗換え（約15分）、越中大門駅下車、会場まで徒歩7分間です。

2回目；

日時；令和6年12月14日（土）午後1時～午後4時

15日（日）午前9時30分～午後4時30分

会場；大門総合会館

内容；

- ① 機能神経学：姿勢を支える神経システム 筋緊張の制御機構
- ② 徒手療法：息が吐けると筋緊張は緩む、気がとおる
- ③ 身体呼吸療法：身体の呼吸リズムとは 吐けない・吸えない側

その他；1日目終了後、氷見の民宿で宿泊・懇親します。

費用；2回目以降は、宿泊費が多少変化します。

3回目；

日時；令和7年3月

会場；大門総合会館

内容；

- ① 機能神経学：眼球運動と前庭小脳 眼-頭の運動
- ② 徒手療法：めまいとエプリー法 レーザーポインターによる評価
- ③ 身体呼吸療法：縦の呼吸

その他；1日目終了後、氷見の民宿で宿泊・懇親します。

4回目；

日 時；令和7年6月

会 場；大門総合会館

内 容；

- ① 機能神経学：ヘミスフェリシティとは 小脳-BG-前頭葉
- ② 徒手療法：身体にどのようにあられるのか
- ③ 身体呼吸療法：頭蓋顔面部の身体呼吸 体液の揺らぎ

その他；1日目終了後、氷見の民宿で宿泊・懇親します。

5回目；

日 時；令和7年9月

会 場；大門総合会館

内 容；

- ① 機能神経学：大脳半球インバランス
- ② 徒手療法：鼻呼吸の秘密 膜系のテンション
- ③ 身体呼吸療法：呼吸がひらく 正中の呼吸

その他；1日目終了後、氷見の民宿で宿泊・懇親します。

【申込み・お問合せ】

日本カイロプラクティック師協会（JSC）北陸支部

事務局 〒933-0827 富山県高岡市泉が丘 3300-154 （新開接骨院内）

☎0766-28-5775 Eメール； shinkai@p1.tcnet.ne.jp

【講師自己紹介】

大場 弘

1952年、山形県酒田市生まれ、

米国のロサンゼルス、クリーブランド・カイロプラクティック
大学でカイロプラクティックを学び、1982年に帰国、現在に
至る。

クラニオパシを実践的に研究、身体呼吸療法を治療の柱として発
展させてきた。

カイロプラクティック神経学を修め（2002年）、脳と神経の
はたらきを臨床的に活用することを実践している。

マニュアルメ ディスン研究会を主宰し、カイロプラクティックとオステオパシーを統
合した徒手療法を提言している。さらに研究活動の一環として、居合道、合気道を実践
しつつ、氣を施術に活かす日本独自の徒手療法のあり方も模索している。

JR 神田駅東口に、大場徒手医学研究所を設け、患者さんへの徒手療法の施術と研究活
動に携わっている。

